

令和3年度 釧路教育研究センター 運営審議会

日 時：令和3年7月12日（月）16：00～17：00

場 所：釧路教育研究センター 2F大会議室

出席者：別添 運営審議会座席表のとおり

関係資料：資料1 令和2年度事業報告

資料2 令和3年度事業計画

1 開会

2 委嘱状交付

3 教育長挨拶

4 議事

(1) 令和2年度事業報告

○事務局より、資料1を使用し、説明。

(2) 令和3年度事業計画

○事務局より、資料2を使用し、説明。

(3) その他

【以下、質疑応答】

◇委員

・研修講座に性教育を入れていただき感謝している。若い女性の自殺が増えており、困ったら相談するという力を養ってほしい。

◆事務局

・受講者の声からも、これまでの講座とは違った視点から学ぶことができたなど、有意義な講座となった。

◇委員

・学校現場ではGIGA元年ということで、いかにタブレット端末を活用していくか模索している。そのような中で、このようにセンター講座で多くの研修を実施してもらっているのでも活かしていきたい。

◇委員

・昨年度、エネルギー環境教育の研修が中止になったが、今年度も入っていない。SDGsの理念も関係してくるので何らかの形で入れてほしい。

◆事務局

・エネルギー環境教育については、主催者に打診したが、新型コロナウイルスの関係もあり、次年度にスライドしてほしいとのことであった。そのため今年度は環境財団に協力いただき、タンチョウの保護と共生をテーマにした講座を行う。

◇委員

- ・地域は影響し合っているが、大学生に話を聞くと、「一人で生きていくからつながりはいらぬ」という声聞かれる。地域共同体としての意識を養うような講座を開設してほしい。

◆事務局

- ・センター講座の枠を超えた内容ではあるが、道徳の中には地域とのつながりを気づかせる内容もある。また、コミスクは地域と学校をつなぐを大切にしている。

◇委員

- ・私自身、地域共同体について説明できないが、若い人たちは、SNSでのつながりは持っているが、人と人とのつながりが重要だと思う。どうか、そういったつながりをもてる人に育ててほしい。大きなテーマで申し訳ない。

◆事務局

- ・学校教育の範疇ではなく、社会教育も大きく関係してくる。お年玉を何軒からもらっているかという調査があり、1960年は13.4軒であったのが現在は2軒程度となっている。それだけ人と人との関係が希薄化しているので社会全体で考える必要がある。

◇委員

- ・学校でしか伝える場がない。社会に出てから学ぶでは遅い。

◇委員

- ・コミスクは中学校でも行っているのか。例えば城山小学校では、城山商店街などつながりを持っており、いろいろな大人と話す機会を得ている。もっと多くの大人が子供と関わり育てられるようになればいい。

◇委員

- ・学校では、人と人をつなぐを大切にする活動が多くあり、社会の一員としてキャリアの視点を持ちながら行っている。なお一層力を入れてやっていただけるとよい。

◇委員

- ・何でも学校にお願いして申し訳ないが、ほかに頼るところがない。

◆事務局

- ・小・中学校はよくやってくれている。高校教育でも、いま地域との関りについては、求められているのでこれから強力に進めていくと思われる。

◇委員

- ・令和の答申では高校は地域とのつながりを持つように言われているので、今後に期待したい。

5 閉会